



第 7 7 回全国装蹄競技大会開催要領

I 開催日時

令和 8 年 1 0 月 1 9 日 (月) ・ 2 0 日 (火)

II 開催場所

競技大会 第 1 会場 日本装削蹄協会・装蹄教育センター
栃木県宇都宮市鶴田町 1829-2

TEL028-648-0007

褒賞授与式 第 2 会場 JRA 宇都宮管理事務所
栃木県宇都宮市砥上町 321-4

III 開催日程の概要

第 1 日 (10 月 19 日)

1. 競技大会 (第 1 会場)

(1)開会式 8 : 00 ~ 8 : 20

優勝旗返還

(2)装蹄判断競技 ※ 8 : 30 ~ 10 : 55

(3)造鉄競技 ※ 8 : 30 ~ 10 : 55

(4)特別演技 11 : 05 ~ 11 : 35

認定講習会受講生の造鉄実演

(5)装蹄競技 13 : 00 ~ 15 : 50

(6)エキシビション造鉄競技 16 : 20 ~ 16 : 35

※装蹄判断競技と造鉄競技は、選手を 4 組に分け同時進行

第 2 日 (10 月 20 日)

1. 褒賞授与式 (第 2 会場) 11 : 00 ~ 12 : 00

IV 競技の概要

1. 装蹄判断競技

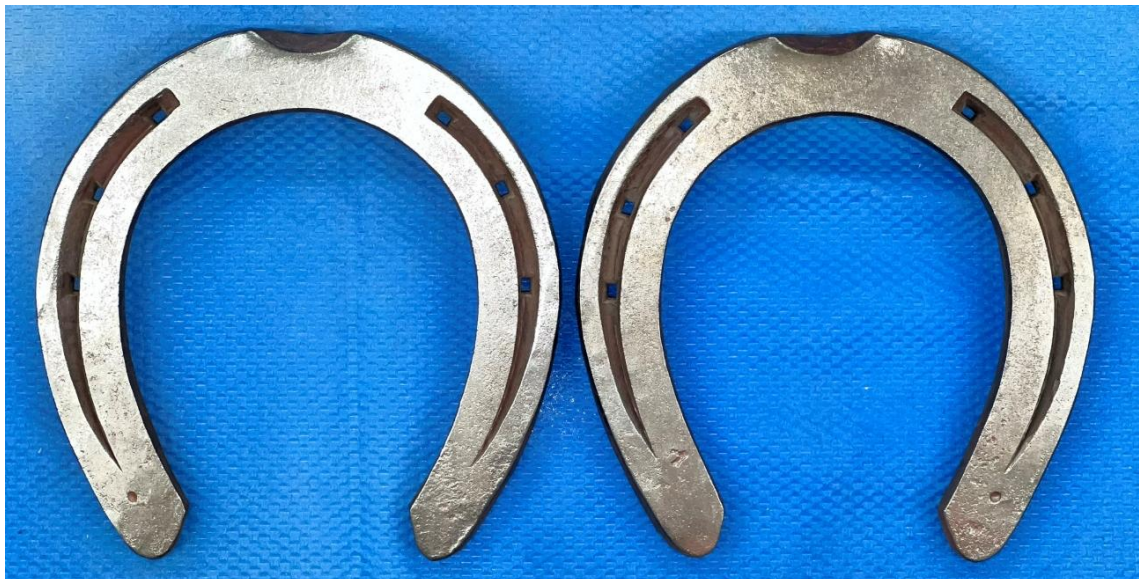
①判断馬 1 頭について行う。

②規定時間 25 分で、その肢蹄の形態的特性、歩様及び装蹄方針を筆記解答する。

2. 造鉄競技

①単独造鉄競技種目：競技前日打合会で大会会長が提示する左右前肢用または左右後肢用いずれかの新標準蹄鉄 07 タイプを理想として蹄鉄左右各 1 個を規定時間 25 分で作製する。

- ② 本種目の上位 16 名が、装蹄競技に進出する。



左右前肢用新標準蹄鉄 07 タイプ



左右後肢用新標準蹄鉄 07 タイプ

3. 装蹄競技

- ① 単独造鉄競技種目の上位 16 名により、装蹄馬のサイズに合わせた前肢用新標準蹄鉄（07 タイプ）1 個を単独造鉄し、これを用いて当該馬の前肢 1 蹄の 07 式装蹄を行う（装蹄馬 1 頭を 2 名の選手で分担）と共に、提出用蹄鉄（後肢用連尾蹄鉄）1 個を単独造鉄する。
- ② 規定時間は、60 分。



前肢用新標準蹄鉄（07 タイプ）



提出用蹄鉄（後肢用連尾蹄鉄）

V 競技成績による褒賞対象者数

区分	装蹄競技大会	
総合	最優秀賞	各 1 名
	優秀賞	
	3 等賞	
種目別	優勝	各 1 名

VI 出場選手の選考と決定

- (1) 出場選手は、認定装蹄師であって、原則としてその所属する本会正会員たる
地方会（以下「地方会」という。）会長又はこれに準ずる者の推薦によって選考
される。
- (2) 本会会長は、競技大会の 15 日前までに、推薦者並びに選手本人に出場の可
否を連絡する。
- (3) 地区別出場選手数はおおむね下表の地区別選手枠により決定する。出場希望
者数が地区別選手枠を上回る場合には、本会会長がこれを調整する。
- (4) 別枠として 10 名の優勝経験者枠を設ける。

北海道	東北	関東	中部	近畿 中四国	九州	JRA・NAR	優勝経 験者	計
5	1	10	1	7	1	5	10	40

VII 競技大会出場選手推薦書の提出

地方会会長またはこれに準ずる者は、全国装蹄競技大会規則第 5 条の規定に基づき競技大会出場選手推薦書を 8 月末日までに本会会長宛に提出するものとする。

VIII 参加費用

選手参加費用は 2 万円とし、納入後はいかなる理由があっても返納しない。

IX 選手旅費

支給しない。

X その他

その他競技大会の細事については、全国装蹄競技大会諸規程による。

XI 付帯行事

第 1 日：認定講習会受講生の造鉄実演

エキシビション造鉄競技（マスターズ造鉄競技）